

一般社団法人 埼玉県物産観光協会



バーチャル観光や
ECサイトも組み合わせた新スタイル。
収束後には最高の「おもてなし」で。



埼玉県物産観光館「そびあ」菓子・食品・地酒・工芸品など約650種類の県産品を販売。特に地酒は35歳中28歳の商品を取り揃え。来られない方にはECサイト「来て見て彩々.com」から購入も。



9月1日にリリースした「うどんパスポート」アプリ。ダウンロード無料。アプリを使って埼玉自慢のうどんをお得においしくゲットしませんか。(2021年2月まで利用可)



感染予防をしっかりと秋の魅力探しをしてみよう。写真提供/埼玉県観光課

一般社団法人 埼玉県物産観光協会

〒330-8669
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル5階
TEL: 048-647-0500
<https://chocotabi-saitama.jp/>

蔵造りのまち川越や川と緑豊かな自然で人気の長瀬・秩父を有する埼玉県。埼玉全域の魅力と「食と旅」の 프로모션을 推進する埼玉県物産観光協会でDMO事業本部長を務める秋穂進也さんに現状とあらたな観光スタイルのお話を伺いました。「県を超えての往来制限解除後川越や長瀬などの人気観光地では、徐々に人が戻ってきています。人気観光地での感染状況は比較的低く、地元事業者さん、観光客の方がしっかり感染予防対策をしてくださっている印象と結果が見受けられます。」と状況を語る秋穂さん。

観光には厳しい情勢の中、今秋から来春までの企画や取り組みを尋ねると、「昨年発行し好評だった『うどんパスポート』のアプリを9月1日からリリースしています。アプリ画面を見れば割引価格で食べられるというものです。画面提示は非接触対応なので感染予防の配慮にも、もう一つは冊子を見せるとお得にいちご狩りやスイーツ店で割引が受けられる企画の『いちごクーポンブック』の実施を12月から予定しています。あたらしい観光スタイルとしては、VR映像などを見て観光気分を味わい、コロナ収束後に現地を訪れ楽しんでもらうためのバーチャル観光を推進中。加えて県独自の彩の国「新しい生活様式」安心宣言を観光事業者の方々へお願いし、観光客の方には宣言をしている店舗や宿泊施設を利用していただくよう、お互い協力し合う環境を整備しました。また県産品購入には、ECサイト「来て見て彩々.com」を運営。現地に行けないが埼玉を応援したい!という方にはこちらを利用して、おいしい埼玉のお酒やグルメを楽しんでいただけたらと思えます。バーチャル観光やECサイト活用なども組み合わせ

実際訪れてみると「また訪れたい!」と思う観光コンテンツがたくさんある埼玉を、再発見してください。

DMO事業本部長
秋穂 進也さん



せ、埼玉を知り、楽しんで、応援してもらえればと思います」とメッセージをいただきました。今こそ、もう一度地元を向けてあらたな発見と応援をしてみたいかがでしょう。(取材日/8月19日)